

課題分析と優先的支援策の提案

エグゼクティブサマリー

東京都特別区の公共施設は**老朽化**、**財政負担増大**、**利用偏り**の三重苦に直面。持続可能な行政サービスのため、**総量抑制**・**複合化**・**適正配置**・**受益者負担見直し**・**包括管理委託**等の多角的支援策が優先的に必要。

50%+

施設の老朽化率
(築30年超)

87億円

年間維持管理費
(中央区例)

25-32%

必要削減率
(2100年度まで)

公共施設を巡る3つの課題

1 施設の老朽化

- 1960-70年代に大量整備され、**築50年超**の
- 小中学校の約6割が10年後に改築時期
- 耐震性不足や設備不具合の顕在化

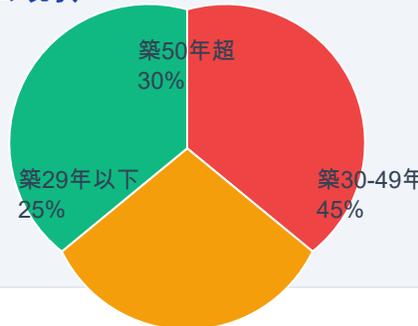
2 財政負担の増大

- 人口減少・高齢化による**税収減**と**扶助費増**
- 中央区：年間維持費**87億円**が今後も増加
- 現状維持は財政的に**困難**との試算

3 公共施設利用の偏り

- 場所**・**人**・**時間**の3軸で利用に大きな偏在
- 特定年齢層・団体みの利用傾向
- 需給バランスの崩れと最適化の必要性

施設の現状



優先的支援策と先進事例

優先度【高】

- 人口減少を見据えた**施設総量抑制**
- 施設の**複合化**・複合化後の**評価検証**
- 地域の**実情**に応じた**施設適正配置**
- 受益者負担の**区民アンケート** (江戸川区事例)
- 公共施設包括管理業務委託** (墨田区事例)

江戸川区：2100年ビジョン

- 総量抑制の必要性を早期に示す
- 合意形成への**コミュニケーション戦略**
- 持続可能なサービス提供へ道筋

墨田区：包括管理業務委託

- 管理コスト削減と品質向上の両立
- 設備寿命の**延長効果**
- 職員負担軽減で企画業務に注力